

高砂へのアクセス



山陽電鉄

●大阪方面から [80min]

阪神梅田 ----- 高砂

●岡山方面から [60min]

岡山 ----- 姫路 ----- 山陽姫路 ----- 高砂
新幹線

●姫路から [15min]

山陽姫路 ----- 高砂

JR西日本

●大阪方面から [60min]

大阪 ----- 加古川 ----- 宝殿

●岡山方面から [50min]

岡山 ----- 姫路 ----- 宝殿
新幹線

●姫路から [14min]

姫路 ----- 宝殿



●神戸方面から

加古川バイパス高砂北ランプ出口より市内各所へ

●岡山方面から

姫路バイパス高砂西ランプ出口より市内各所へ



タイムスリップ
高砂町おさんぽマップ



結びのまち高砂市まっぶ



高砂じょうとんバスの情報はこちら



The Takasago

connects *to* everything.

歴史と結びのまち、高砂。



絶景も、グルメも、ロマンも、
高砂の魅力に出会いにいく1day trip



Contents

03

高砂見どころマップ

05

高砂を巡る1日旅

地域のマーケット朝ごばん市

御朱印見本帳

目移り必至、高砂ランチ

高砂が誇る珠玉の逸品

夕刻前のごきげん時間

17

TRIP番外編

万灯祭 / Night Fantasy Illusion

播州秋祭り

25

エリアニュース

高砂 / 荒井 / 曽根、伊保、北浜

阿弥陀、松陽 / 米田、神爪

TA

KA

Highlight Map

Shrine Temple
Souvenir Gourmet
Landscape



SA

GO



高砂を巡る1日旅

京阪神エリアから海沿いの電車に揺られること1時間。
車窓は住宅街や田んぼなどを映しながら、
大きな川を越え、すこし重工業の気配も感じる街へたどり着く。
兵庫県内でも有数の歴史を持つエリア、高砂。
そこでは、味わいのある古民家のカフェや商店街のイベント、
美味しいランチ、ずっと変わらず街を見守る神社仏閣、
そしてなんといっても派手なお祭りなど、
たくさんの魅力が詰めこまれていた。
祭りなどを狙っていくのもよし、週末にふらっといくのもよし。
心も身体も満たされる、高砂の1日旅をご紹介します。



morning

商店街に連なるお店の数々。
100回を超えて愛される地域のマーケット

朝ごぱん市

にぎやかな声に誘われて おいしい一日が始まる。



つりた



実幸豚饅

おいしい朝は早い。眠い目をこすりながら山陽電車で揺られて数十分。車窓からは絵画のような海の景色が飛び込んでくる。キラキラと眩しい銀波がまどろみがかった頭を少しずつクリアしてくれる。

高砂駅に降り立ち、目的地である高砂銀座商店街へ。歴史の息を感じるアーケードを歩いて会場に着くと、そこには爽やかな朝を謳歌する人たちの姿が。きっと常連なのだろう、店主と長話に興じるお客さんや、軽く挨拶して通り過ぎる地元客、ついつい買い込みすぎて一息つく場所を探している新顔のお客さん。

たまたま目に留まったお客さんの美味しそうな料理を見つめ、これはどこで買えるのだろうと辺りを見回す。あった。目よりも先に出汁の匂いが鼻腔をくすぐる。大きな声で一品一品紹介するおばあちゃんを横目に、お目当ては「つりた」の上巻。「これも美味しいよ!」と次々に紹介される品々に心奪われ、一店舗目にもかかわらず、あっという間に手元にフルコースが揃う。

雑踏を離れ、傍にあるテーブルに腰掛けて一休み。さっき買った上巻を一口いただこう。どれどれ、ふむふむ。ふっくらとしていて、濃過ぎず薄過ぎず、それぞれの具材が良い具合に調和している。もう一品と天ぷらにも箸を伸ばしつつ、目はすでに次のメニューを探していた。

おっと、いけない。慌てずにいこう。
おいしい一日はまだ始まったばかりだ。



ブラッスリー ポールロジェ

元々は豆腐と創作料理がメインだったが、カレーの出店が大人気でレギュラーメニューに。お子様に優しい甘口カレーだけでなく、大人も嬉しいピリッと効いたスパイシーカレーも。



上田珈琲焙煎所

近隣の地域イベントやマルシェに多く出店し、多くのファンを抱えるコーヒー店。店先にただよるコーヒーの香りに誘われ客足が絶えない。

asagopan
朝ごぱん市

◎高砂銀座商店街
毎月第3土曜日 8:00-11:00
◎takasago.asagopan

神代の文化に触れ、
御朱印で神仏と御縁結び。

御朱印 見本帳

神社仏閣を訪れるにあたり、
欠かせないものがある。

それが御朱印帳。

神社仏閣ごとに個性のある
筆致やデザインの御朱印は、
眺めているだけでなんだか楽しくなる。



一、住職が自ら彫った 版画を取り入れた御朱印。

十輪寺

版画の力強さや独特のか
すがすがしさが相まって、このまま
飾りたくなるような味のある
御朱印。「寶瓶之御影
(ほうびょうのみえい)」の文字
が書かれており、十輪寺
が所蔵している高砂市の
指定文化財「法然上人像
(宝瓶の御影)」が由来。



高砂市高砂町横町1074

二、 縁結びの御朱印。

高砂神社

結婚式の際に仲人が
謳うことで知られる謡
曲「高砂」に登場する
縁結びや和合、長寿
の象徴「相生の松」で
有名なのが高砂神社。
月替わりをはじめ、
様々な種類の魅力的
な御朱印があるので、
ぜひお楽しみに。



高砂市高砂町東宮町190



三、 一願成就の御朱印。

鹿嶋神社

一つの願いを必ず叶えて
くれる「一願成就」で有
名な鹿嶋神社は、地元
の人たちから「鹿嶋さん」
と呼ばれ親しまれている。
紙面いっぱいに駆ける力
強く躍動感のある筆は、
なんだかずっと眺めてい
たくなる。



高砂市阿弥陀町地徳
279番地

四、 日本三奇の御朱印。

生石神社

水に浮かぶ巨石「浮石」で
知られ、日本三奇の一つ
に数えられる“石の宝殿”
生石神社。神代の昔、大穴
牟遲命(おおあなむちのみこと)
と少毘古那命(すくなひこ
なのみこと)の二神が天津神
の命を受けて播磨国に來
た時に、国土を鎮めるに
相応しい石造りの宮殿を
建てようこの地を選んだ
ことが由緒となっている。



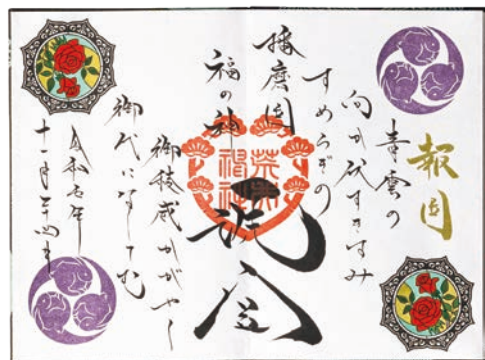
高砂市阿弥陀町生石171

五、菅原道真が 愛した梅が あしらわれた御朱印。

曾根天満宮

学問の神様、菅原道真を
祀る曾根天満宮。御神紋
には道真公がこよなく愛
した梅にちなんだ「梅鉢
紋」が用いられている。梅
は御朱印にもあしらわれ
ており、梅まつりや正月
の時期には限定の御朱
印もあるそうだ。

高砂市曾根町2286-1



六、デザインが 毎月変わる御朱印。

荒井神社

ご祭神であるだいきさま
が弱った兔を助けたとい
う神話「イナバの白兔」か
ら、荒井神社の象徴とし
て兔が取り入れられてい
る。3種類ある御朱印は図
柄や書き入れられる和歌
が毎月変わるため、その
違いを楽しみに訪れる参
拝者もいるのだそう。



高砂市荒井町千鳥2-23-12

目移り必至、 高砂ランチ!

絶品

市内の古社名刹を巡って神仏との縁や歴史をたっぷり堪能したころ、
お腹の虫が鳴りはじめる。心を満たしたあとはお腹もちょうと
満たしてあげたい。目移り必至の高砂ランチ、今日のお腹の虫はどれがお好み?



昔ながらの味を受け継ぐ
一平の
かつめし

一番人気の定番メニュー、
かつめし1,050円。

創 業60年以上の歴史を持つ、ご当地グルメ「かつめし」の名店。洋食だけでなく寿司も提供する。一番人気の「かつめし」は、甘酸っぱくフルーティーなデミグラスソースと牛カツの相性が抜群。洋食店として創業した先代の味を受け継ぎ、ホッとする食事が楽しめる。

すし・かつめし 一平
高砂市伊保港町1-4-24 ☎079-447-0650
休 月曜(祝日の場合営業、翌日休)・火曜(月2回)/
10:00-20:00



かき幸の
かき土手鍋

奇をてらわれない実直な逸品を。

大 正9年創業。大きくぷりっとした濃厚な味わいの広島県産牡蠣に、朝から仕込む利尻昆布と神戸から仕入れた鰯の合わせ出汁がこだわりのポイント。土手鍋発祥の地、安芸郡矢野の伝統に倣った「名代 かき土手鍋」は、奇をてらわれない自然本来の味と彩りが堪能できる逸品。ぜひご賞味あれ。

かき幸
高砂市高砂町田町466 ☎079-442-0830
休 月曜/12:00-14:00(L.O.13:30)・17:15-22:00(L.O.20:30)※4月から9月は穴子がメイン

おすすめは法事や祝い事、食事会などで親しまれる「かき料理 昼御前」3,420円。

1 968年創業の鉄板料理の老舗。もっちりした生地で甘辛く煮込んだ牛すじ肉と、ホクホクの北海道産じゃがいも、こんにゃくなどを挟んだ高砂のご当地グルメ「にくてん」や、お好み焼きなどが楽しめる。地元の人々から長く愛されてきた名物をぜひ味わってみて。

ミナミ
高砂市荒井町中新町6-25 ☎079-442-4846
休 火曜・不定休あり/昼11:00-14:00(L.O.13:30)夜17:00-21:00(L.O.20:30)



ミナミの
にくてん

甘辛い具が相性抜群!

もっちり生地と

地元で長年愛されてきたソウルフード、
高砂にくてん600円。

ふっくらと柔らかな穴子を

特製タレで味わうひと時



そらまめの

穴子せいろ蒸し

大人気のせいろ蒸しセット2,100円。

播 州名物の穴子を焼き、ご飯と一緒に特製タレを絡ませてふっくらと蒸した「穴子せいろ蒸し」が看板メニュー。店主が休業時代に学んだメニューを再現した自慢の一品。出汁がきいたタレが穴子のおいしさを引き立てる。「茶そば」「紅梅蒸し(梅干の茶碗蒸し)」とセットで楽しんで。

茶そば・穴子 そらまめ
高砂市高砂町鍛冶屋町1416-1(高砂銀座商店街「高砂や」内) ☎079-443-1735 休 火曜/昼11:30-14:00(L.O.13:30・予約優先)夜17:00-21:30(完全予約制・当日予約の場合は19:00までに入店)

ア ンティークな家具や古道具が並ぶ、ノスタルジックな空間が魅力のカフェ。季節の野菜がたっぷりの「古陰ランチ」は数日ごとに内容が変わり、訪れる度に違う味わいを楽しめる。ランチのご飯は白米か雑穀米で選べるのも嬉しいポイント。不定期で開催される古道具販売イベントも魅力のひとつ。

古陰
高砂市高砂町今津町535-1 ☎079-490-5311
休 不定休/11:00-17:00(L.O.16:00)・ランチ11:00-14:30※繊細なガラスなどがあるため中学生以下は入店不可

ゆったりとした大人の空間で楽しむ

ヘルシーな

古陰ランチ



季節ごとの味が楽しめる
古陰ランチ(ドリンク付)1,450円。

Go find a souvenir!

旅の思い出を形に。

旅の思い出を何か形で残したい。旅の楽しみを大切な人と共有したい。そんなとき、何かひとつお土産があると嬉しい。訪れた土地の風土や歴史、文化をたっぷり感じられるような逸品が手元にあれば、遠く離れた旅先であっても思い出にひとつ飛びだ。

高砂が誇る珠玉の逸品



御影屋
ツートンバッグ

高砂町に生まれた初代工楽松右衛門は、江戸時代に「松右衛門帆」を発明し、航海に革新的進歩をもたらした。当時の文化を継承しつつ、現代のトレンドに合わせたツートンバッグは、色鮮やかなステッチや帆布ならではの丈夫さといった、デザイン性と機能性を併せ持つ一品。

ツートンバッグ 7colors
(縦型) 17,600円/(横型) 18,700円

・SHOP INFO・ 高砂市高砂町今津町510番地/
079-440-9031/定休日:なし/土日祝平日とも
に10:00~17:00



浮石資料館
竜山石

生石神社のご神体「石の宝殿」と同質の竜山石でできた、小さなピラミッドと植物鉢。竜山石は魔除けや縁結びのパワーストーンと言われ、調湿・消臭機能があるため、お部屋のインテリアにもぴったり。浮石資料館では「石の宝殿」の解説が行われている。

竜山石ピラミッド(小) 4,000円/(大) 10,000円
Pot(植物鉢) 1,500円

・SHOP INFO・ 高砂市阿弥陀町生石171(生石
神社内参集殿1階)/079-447-1006/土日祝の
み開館/10:00~15:00



柿の木窯
宝殿焼

幕末に隆盛を誇ったのち廃窯となり、現在は幻の窯、幻の陶と呼ばれる宝殿焼。在りし日に日常使いの品として一般庶民に親しまれた名器が、「柿の木窯」でよみがえる。素朴な土味と無量の雅味の魅力をぜひ実際に手に取って味わってほしい。

宝殿焼(コップ) 2,200円~/ (茶碗) 1,400円~

・SHOP INFO・ 高砂市神爪5丁目21-2/
kakinokigama@gmail.com/木・金曜日10:00
~18:00 ※上記営業時間以外も対応可能。詳しくは直接お問い合わせください。



下村商店
焼あなご

100年以上前から高砂の地で穴子を焼き続けてきた名店、下村商店。リピーターが多く、秘伝のタレがよく絡んだ肉厚な身はひと噛みすれば口内に炭火の芳香が広がる。手巻き寿司の具やふっくら炊き上げた白米の上に乘せて丼としていただくのがおすすめ。

焼あなご中大 1串2,200円~

・SHOP INFO・ 高砂市高砂町北本町1172/
079-442-0124/定休日:日曜日/6:00~16:00
水・祝日のみ7:00~16:00

歩き疲れたときにホッと一息。

夕刻前の ごまげん 時間

刺激たっぷりの体験も良いけど、
そればかりだと何だか疲れちゃう。
体験をじっくり味わうためにも、
あえて「ひと休み」をスケジュールに。



上田珈琲焙煎所



珈琲焙煎所 KOTI



チゴイネルワイゼン

深煎りの香ばしさ

おしゃれな格子が目印の珈琲店

格子の隙間からやわらかな陽光が降り注ぐ。土間スペースをリノベーションした縁側風のイートインスペースは腰の落ち着きがとても良い。クリーンでコク深い甘みが特徴の「雨の日の珈琲」など、独特のネーミングコピーがあしらわれた店主おすすめの香ばしい深煎りコーヒーは、香り広がるこだわりの宝殿焼の器で。ひといきつくと、付かず離れずの距離感で愛らしい猫が様子をうかがいに来る。



隠れ家的カフェで

コーヒーの奥深さに触れる



ウエダコーヒー

上田珈琲焙煎所

●高砂市高砂町獵師町850 休 月・火曜日/水～金 10:00～18:00/土・日・祝 9:00～17:00 ☎080-1525-9774 ※イベント出店で臨時休業の場合もあるため、ご来店前にSNSで営業時間をご確認ください。

厳選したこだわりのコーヒー豆の焙煎・卸売を行うカフェ。築80年の長屋をリノベーションした隠れ家のような雰囲気。魅力。店内やテイクアウトで楽しめるコーヒーは、豆だけでなく抽出方法まで選べる。淹れ方によって変わる奥深い味わいは、感動と幸せを運んでくれるはず。コーヒーに合う素朴な自家製ケーキもおすすすめ。1人で訪れてもゆったりとくつろげる落ち着いた空間で、日常から離れた休息時間を過ごしてみては。

●高砂市高砂町田町465-1 休 不定休/月～金 19:00～23:00(L.O.22:00)/土・日13:00～21:30(L.O.20:30) ☎080-9126-1712 ※不定休のため、ご来店前にGoogle MapやSNSで営業時間をご確認ください。

コティ

珈琲焙煎所 KOTI



チゴイネルワイゼン

●高砂市米田町米田110-1 休 不定休/7:30～17:00 ☎079-432-4336 ※不定休のため、ご来店前にGoogle MapやSNSで営業時間をご確認ください。

日常のリズムを整えるひととき

ものの寂しくも美しい旋律が哀愁を誘う、名曲『ツイゴイネルワイゼン』の世界観を体現したカフェ。あたたかみを感じるウッド調の内装に、店主夫妻が各地から取り寄せたインテリアが光る。「忙しい日常の中で落ち着ける場所を提供したい」との言葉通り、黄昏の陽光溢れる店内にはゆるやかな時間が流れている。石臼で豆を挽き、サイフォンで一杯ずつ丁寧に淹れられたコーヒーは、トーストやフルーツと一緒にいただけるアフタヌーンティーセットで。

年に一度、
町には幽玄な火が灯る

歴史が日常に息づく町「高砂」の
非日常が感じられる一夜

万灯祭

ノスタルジックな町を舞台に、
約10,000灯のあかりが煌めく——

2006年、高砂市高砂町が「歴史的景観形成地区」に指定された年にスタートした「たかさご万灯祭」。地元有志の手によって約10,000灯のキャンドルに火が灯り、幻想的な一夜を演出する。灯が集積する4つのエリア「和みの灯り」「水の灯り」「夢の灯り」「結びの灯り」でコンセプトが異なり、それぞれ違いを楽しめる。「十輪寺」をはじめ、「善立寺」「三菱製紙魚町倶楽部」「工楽松右衛門旧宅前駐車場」では関西を中心に活躍するアーティストによるジャズライブも実施。目だけではなく耳でもファンタジックな世界を堪能することができる。

- 開催日時：毎年9月ごろ
- 場所：山陽電車高砂駅南側一帯

多くの人は辺りが暗くなる前から会場に。夜の帳が降り、灯が一層幻想的に映えるタイミングを今か今かと待っている。

エリアで表情の異なる
灯を楽しんで



4つの異なるコンセプトで彩られる会場。それぞれがどのコンセプトを体現しているのか、考えながら鑑賞するのも面白い。

Night Fantasy Illusion

夜の帳が下りた空に煌々と輝く花が咲き、躍動感のある音楽とともに極彩色の直線が踊る。2014年から高砂海浜公園で毎年開催されている冬の風物詩「Night Fantasy Illusion」。「高砂を今よりもさらに明るい豊かなまちにしていきたい」という強い想いで開催されている当イベントでは、夜空を彩る幻想的なメインコンテンツのほかにも、約20店舗の飲食ブース「高砂シーサイドバルin向島公園」や、キラキラ輝くLEDライトのイルミネーションなどが楽しめる。

- 開催日時: 毎年11月ごろ
- 場所: 高砂海浜公園 / 高砂市高砂町向島町1710

高砂が誇る晩秋の風物詩。

老いも若きも男も女も、 血湧き肉躍る勇壮な「播州秋祭り」。

彩り豊かな装飾が施された各町自慢の屋台に、
「ヨーイヤサー」と響き渡る掛け声、
砂塵を巻き上げながら数台の屋台がせめぎ合う屋台練り。
迫力満点の秋の風物詩は、地元民の土着愛を湧き立たせ、
年に一度の大盛り上がりを見せる。



曾根天満宮

屋台の上に布団が乗っているように見えることから「布団屋台」と呼ばれる
華麗な屋台が特徴で、「にぎやかにすれば神様が喜ぶ」と激しい屋台練りが
行われる。長さ約10mの竹を粉々に割れるまで地面にうちつける「竹割り」
や、馬が境内を駆け巡る「馬かけ」など、魅力的な神事も豊富だ。

開催日時／10月13日(宵宮)・14日(本宮)
場所／高砂市曾根町2286



荒井神社

最大の呼び物は江戸時代から伝わるという「仁輪加太鼓(にわかだいこ)」。少女が扮する着飾った舞子を先導にだんじりが町内を練り歩き、練り子の囃子や唄と掛け合いながら寸劇を展開していく。その演目は毎年異なり、高砂市指定文化財にも認定されている郷土芸能だ。

開催日時／スポーツの日の前々日(宵宮)・前日(本宮)
場所／高砂市荒井町千鳥2丁目23-12

小松原三社 大神社

荒井神社と並び、小松原三社大神社も仁輪加太鼓の伝統を受け継いでいる。舞子と乗子、そして屋台の担ぎ手の三者が一体となって披露する芸と、屋台を差し上げる男達の熱気が絡み合う。

開催日時／スポーツの日の前々日・前日
場所／高砂市荒井町小松原3丁目4-9





米田天神社

宮本武蔵の甥、宮本伊織が再建したといわれている米田天神社。威勢のいい掛け声とともに大人屋台や可愛らしいこども神輿などが町内を練り歩き、祭りを盛り上げる。

<開催日時>スポーツの日の前々日・前日

<場所>高砂市米田町米田503

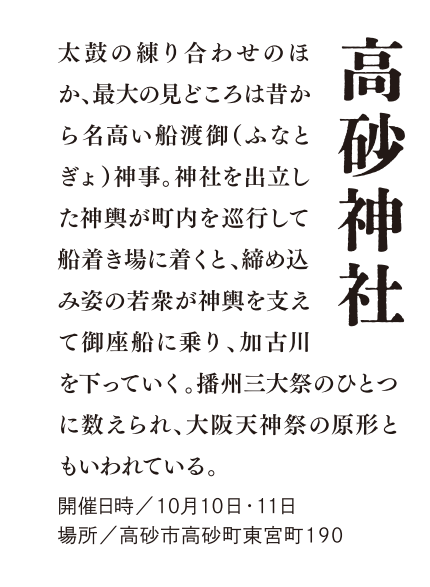


生石神社

「石の宝殿」との異名を持つ生石神社。祭神である大穴牟遲命(おおあなむちのみこと)を祀る神輿を若者が、少毘古那命(すくなひこなのみこと)を祀る神輿を年配の者が担ぎ、ぶつけ合うように激しく練り合わせる姿が圧巻。神の警護役である猿田彦に扮した人物が、周りで囃したてる若者たちを追い払う神事「赤囃子(あかはやし)」も見逃せない。

開催日時／10月第3土曜日(宵宮)・日曜日(本宮)

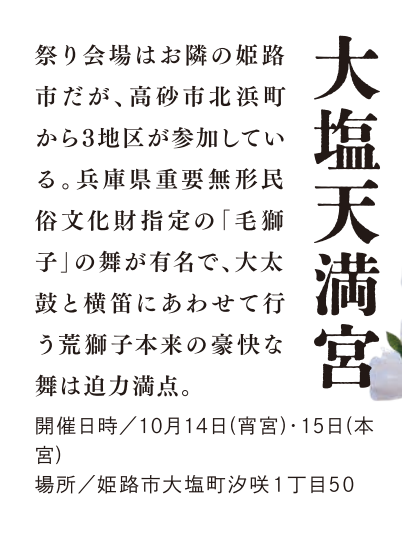
場所／高砂市阿弥陀町生石171



高砂神社

太鼓の練り合わせのほか、最大の見どころは昔から名高い船渡御(ふなとぎょ)神事。神社を出立した神輿が町内を巡行して船着き場に着くと、締め込み姿の若衆が神輿を支えて御座船に乗り、加古川を下っていく。播州三大祭のひとつに数えられ、大阪天神祭の原形ともいわれている。

開催日時／10月10日・11日
場所／高砂市高砂町東宮町190



大塩天満宮

祭り会場はお隣の姫路市だが、高砂市北浜町から3地区が参加している。兵庫県重要無形民俗文化財指定の「毛獅子」の舞が有名で、大太鼓と横笛にあわせて行う荒獅子本来の豪快な舞は迫力満点。

開催日時／10月14日(宵宮)・15日(本宮)
場所／姫路市大塩町汐咲1丁目50



Ujien
高砂宇治園

本格的なお茶会やお香づくりを気軽に体験できる明治37年創業の老舗店。店主が長年集めた貴重な茶道具のコレクションも必見。宇治抹茶は薄茶「雲鶴」や濃茶「千夜昔」、最高級の玉露もご用意。至福の一杯で深呼吸してみては。



Memo

高砂市高砂町北本町1113-5(高砂銀座商店街角)
☎079-443-4581(ワークショップは事前予約制) 10:00-17:00
●火曜日



エリアニュース

Vol. 01

TAKASAGO

江戸、明治初期の街並みが残る
歴史深い高砂町のホットなニュースをお届け。

高砂町

有宏
Yuko
ビジネスホテル

Afternoon Cafe

Memo



たまのご褒美や女子会に珍しいアフタヌーンティーはいかが? ヨン活が趣味のオーナーが、お気に入り店から厳選した季節のスイーツに加え、なんとキンパまたはビビンバがセットに! 都会に行かなくても贅沢な気分を。

高砂市高砂町浜田町2-9-21
高砂ビジネスホテル有宏1F
☎079-443-6711(2日前までに要予約) アフタヌーンティーは14:00-16:30
●不定休

Pol Roger
**ブラスリー
ポールロジェ**



Memo

高砂市高砂町鍛冶屋町1379
☎079-442-5128 11:30-14:00、17:30-22:30 ●火曜日

温かみのある空間で国産大豆使用の自家製とうふと創作料理を味わえるポールロジェ。スパイシーな若鶏の香草焼きとめらかなとうふメニューを一緒に。オムレツやラザニアのトロツとした口当たりを心ゆくまで。ランチだけでなくお酒とともに楽しめるディナーコースも。



Madoisen
まどいせん

ハンドドリップの深煎り珈琲とやさしい甘さのシフォンケーキを食べながら、和洋いりまじる素敵空間を堪能。月替わりシフォンケーキや季節限定メニュー(6月から9月はかき氷・11月から4月はぜんざい)を目当てに通う楽しみも。革作家の店主が丁寧にレクチャーしてくれるレザー教室では1日で完成する小物もあり、通年大人気。

Memo

高砂市高砂町魚町545 ☎070-5654-2987
レザー教室は10:00-13:00(完全予約制)、カフェは13:30-16:30 ●水~金曜日

kikkoman

キッコーマン



工場見学

キッコーマン高砂工場の見学では、しょうゆの製造工程を映像や展示で紹介。もろみの熟成の様子やしょうゆの色・香りを体験でき、しょうゆの醸造について楽しみながら理解することができる。

●見学開始時間

平日9:30、11:00、13:00、14:30

●要電話予約 079-442-2150

※詳細はお問い合わせください。

●見学科 無料 ●参加人数 2名より

●所用時間 約60分(ビデオ上映、しょうゆの製造工程見学)

yellow

新鮮たまごをいつでも購入できる「たまごの郷奥丹波農場」直営店の人気ジェラート。定番の「たまごやさんのカスタード」はシングル400円でずっしり濃厚。その他季節の果物などフレーバーは10種もありどれにしようか迷ってしまう。地元食材使用のカフェメニューも。



yellow.

Memo

高砂市荒井町若宮町7-17
☎ 079-444-2410
9:30-18:00 休 不定休

SUNTORY

サントリー



工場見学

サントリー高砂工場では、缶コーヒー「BOSS」や伊右衛門などの清涼飲料を生産している様子が見学や、試飲が楽しめる。ペットボトルや空き缶のリサイクルでゴミを一切出さない取り組みをはじめ、環境活動について学ぶことができる。

●見学所要時間 平日10:30~11:30、14:30~15:30

●要電話予約 079-444-2922

●見学科 無料 ●参加人数 2名より

エリアニュース

Vol. 02

ARAI

「あの」工場の見学や、ここでしか味わえない料理にスイーツまで。



荒井町

忠助

本家串焼
Chusuke



創業から60年、継ぎ足し続けたしょうゆダレで焼く串焼きに舌鼓。おまかせ十種盛りでぜひ鶏の旨みを堪能して。こだわりの日本酒が並ぶ中から播州の地酒、ご縁を結ぶ「高砂」や「奥播磨」との相性も抜群！

Memo

高砂市荒井町扇町11-18
☎ 079-442-0896
17:00-22:00
休 日曜日(不定休あり)

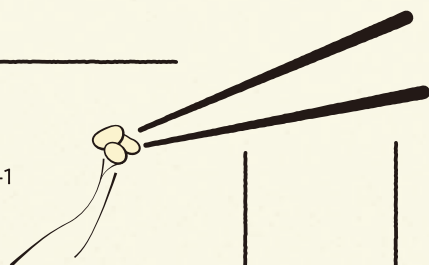




納豆工房 Nattokochan なっとこちゃん

大豆本来の風味を味わえる納豆を探究して30余年。北海道産ユキホマレや兵庫県産佐用もち大豆を、選別から加工まで人の目と手で丁寧に手掛ける。ふっくらもちもちの極上食感が自慢。パッケージが可愛らしくギフトにもおすすめです。

Memo
高砂市曾根町1780-1
☎ 079-448-5400
10:00-17:00
● 日曜日



伊保崎

Ihozaki

ご夫婦で営まれているアットホームな店内で味わえるモーニングセットは600円～。スープ、ミニオムレツ、カットバナナ、ミニヨーグルト、ドリンク付きの豪華な内容。オープンサンド、ホットサンドなどメニューの種類が多く、選ぶ時間もワクワクする。



Memo
高砂市伊保崎1-23-10
☎ 079-440-6909
8:00-17:00 ● 隔週月曜日

エリアニュース

Vol. 03

SONE / IHO KITAHAMA

曾根・伊保
北浜町

曾根天満宮以外にも
まだまだある、
おすすめスポット。



Umasaka
Touge

馬坂峠



Memo
高砂市曾根町1139



日笠山全山縦走ハイキングコースにある峠で、高砂市と姫路市を横断することができる。11～12月には白く可憐なノジギクが花を咲かせ、標高42.5mからは高砂の工業地帯を見渡せる。人工的なものが少ない細い道はかつて人や馬が行き交った面影が色濃く残っている。



Murata

むらたの カステラまんじゅう



塩味で甘さが引き立つクリーミーな白あん。国産小麦を使用したもちふわ食感の一口カステラ。曾根天満宮の参拝客のお土産や子どもたちのおやつにも。1度食べれば、やみつきになること間違いなし! ミルクせんべいが当たるくじ引きも人気。



Memo
高砂市曾根町2299-1
☎ 090-1246-0063
9:00-17:00 ● 月、火曜日(不定休あり)



敬神堂

Keishindo

鹿嶋神社参道の本殿に最も近い場所で約90年にわたり営業する和菓子屋「敬神堂」。名物は日々手づくりする伝統のかしわもちに香り高いきなこをたっぷりまぶした「開運おかげもち」だ。きなこをまとったコッペパン「黄金パン」は子どもたちにも大人気。

Memo

高砂市阿弥陀町地徳275-8 ☎070-4110-3153
10:00-15:00 休 水、木曜日



エリアニュース

Vol. 04

AMIDA SHOYO

日本三奇の一つ生石神社に「鹿嶋さん」で親しまれている鹿嶋神社など、神祕が息づくエリアのホットスポット。

阿弥陀町 松陽

香房 たかさご食彩縁

(高砂市観光交流ビューロー高砂北観光案内所)

「播磨富士」で親しまれる高御位山の麓にたたずむ燻製屋。「カキの燻製」や「燻製ひねぼん」が絶品。サクラとリンゴのチップで燻された芳醇な香りが自慢だ。ふる

さと納税ポータルサイトの燻製部門では全国1位の実績も。



Memo

高砂市阿弥陀町長尾199-1
☎079-455-9398 10:00-17:00
休 水、第1・第3日曜日



クエルナバカ

Cuerna Vacca

創業以来、地元客に愛されて35年以上。ランチ人気メニューはオムライス(単品880円、ミニデザートとコーヒー付きセット1,320円)。昔懐かしいホッとする味わいで、酸味と深いコクの程よいバランスが絶妙なデミグラスソースと薄焼き卵との相性が抜群!

Memo

高砂市松陽4-644-2 ☎079-447-2000
8:00-17:00 休 不定休

bird street +



2023年8月OPENのカフェ「バードストリートプラス」。写真映えするおしゃれなbird lunchはメイン1品、小鉢4~5品でバランスのいい献立を楽しみにしている常連客も多い。5種類のトーストから選べる自家製モーニングも好評だ。おなかも心も満たされるひとときをぜひ。

Memo

高砂市松陽1-9 ☎090-9216-7693
8:30-15:00 休 水、日曜日(不定休あり)



Bon Femme ボンファミ



1992年のオープン以来、地元客に愛されてきたアットホームなレストラン「ボンファミ」は、気取らない料理を友人や家族で囲んでにぎやかに楽しめるのが魅力。ランチコースのメインは4種の魚or肉料理から選べる。個室は6～8人で利用することができる。



Memo

高砂市米田町島60-17 ☎079-432-9923
11:00-14:00(月～日)、17:00-20:00(ディナーは完全予約制) 休 不定休



フルール サンク

Fleurs Cinq

花は特別な日の贈り物だけでなく、日常に佇むもの。鮮やかな季節の花々が暮らしをパッと明るくする。店内に並ぶアート豊かな花器に生けると、さらに繊細な表情に。ベルギーの有名陶芸家の作品を目当てに遠方から訪れる方もいるのだとか。



Memo

高砂市神爪1-9-3 ☎079-433-3223
(ギフトは1週間前に要予約)
9:00-19:00 土日・祝は18:00まで
休 木曜日(不定休あり)

エリアニュース

Vol. 05

KAZUME YONEDA

歴史を感じる街並みや
地元で愛されるお店を探索。

神爪
米田町

Mikiya 菓茶みきや



Memo

高砂市米田町872-52
☎079-431-3829 9:30-18:00
休 日曜日

精肉・総菜店内にあるカフェ「菓茶みきや」。いちごや完熟すだちなど旬の高砂産フルーツを贅沢にクリームに閉じ込めたガナッシュサンドはお土産にもおすすめ。クリームを挟むクッキーはフルーツに合わせた配合で、口の中に広がるマリァージュを堪能してほしい。



西国街道

Saigoku
Kaido

京都から摂津へと抜け、九州へと繋がる西国街道は古くから交通の大動脈として人が行き交い今もその史跡が数多く残っている。JR宝殿駅から西国街道を西に進むと現れる生石神社一ノ鳥居。西に歩くと“石の宝殿”へと示す道標や、その他国の登録有形文化財の旧魚橋郵便局も。散策しながら歴史ロマンに触れてみて。

Memo

高砂市神爪5-2(生石神社一ノ鳥居)/高砂市阿弥陀町魚橋1667(旧魚橋郵便局)